

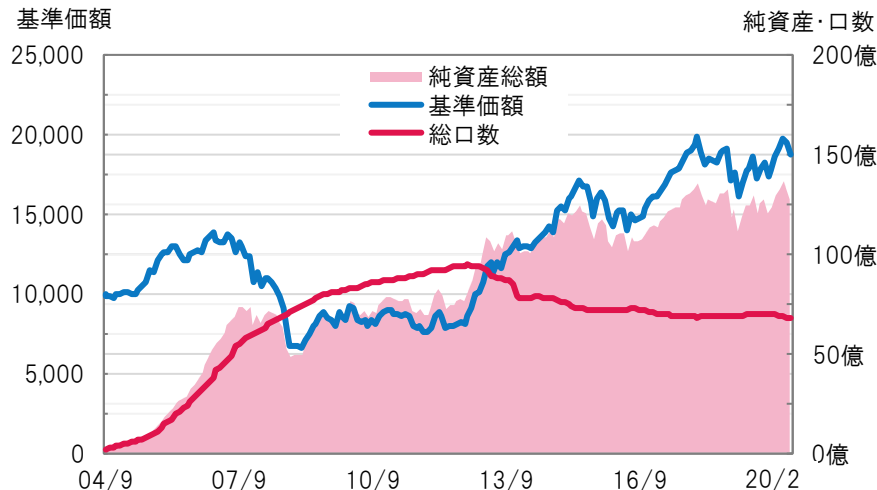
2020  
3月

# ありがとうファンド 月次運用レポート

第187号②【基準日 2020年2月28日】



## ◆基準価額の推移



## ◆ファンドの情報

基準価額	18,777円
純資産総額	127億62百万円
口座数	4,803
積立割合	51.2%

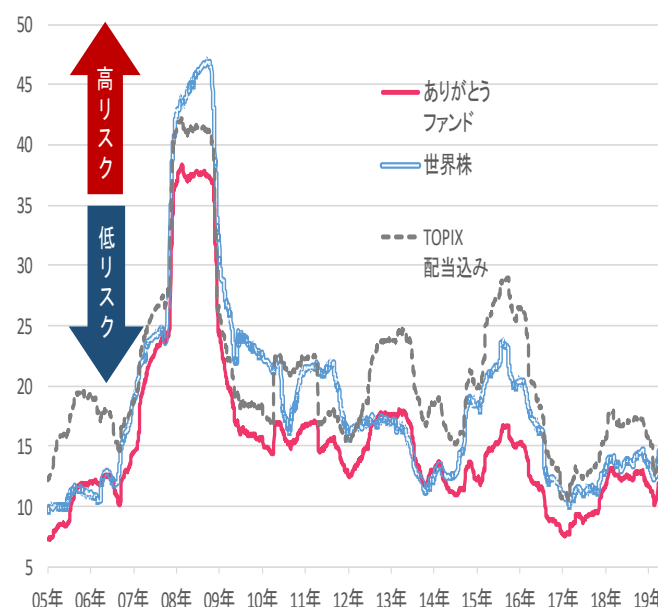


## ◆ファンドの騰落率

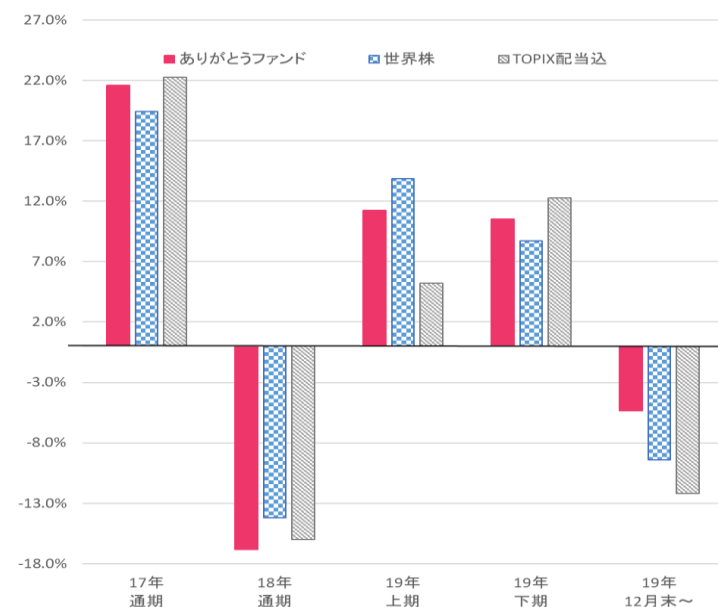
ファンド/参考指数	1ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	年率複利	標準偏差	設定来
ありがとうファンド	▲4.1%	+8.2%	+5.2%	+15.9%	+17.6%	+123.2%	8.29%	14.3	+87.8%
世界株 (配当込み、円)	▲7.6%	+3.1%	▲0.7%	+13.5%	+13.6%	+150.8%	9.55%	17.5	+203.9%
TOPIX配当込み	▲10.3%	+1.1%	▲3.6%	+5.3%	+10.6%	+109.5%	7.61%	16.8	+78.5%

※「年率複利」は、過去の実績値であって将来の成績を保証するものではなく、またお客様ごとの購入時期によって運用結果は異なります。「年率複利」と「標準偏差」については、過去10年間の月末時点基準価額データを基に弊社にて計算しております。設定来騰落率については、ありがとうファンド設定日の2004年9月1日からの騰落率になります。参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

## ◆値動きの大きさの推移(250営業日リスク推移)



## ◆騰落率比較(2017年年初～)

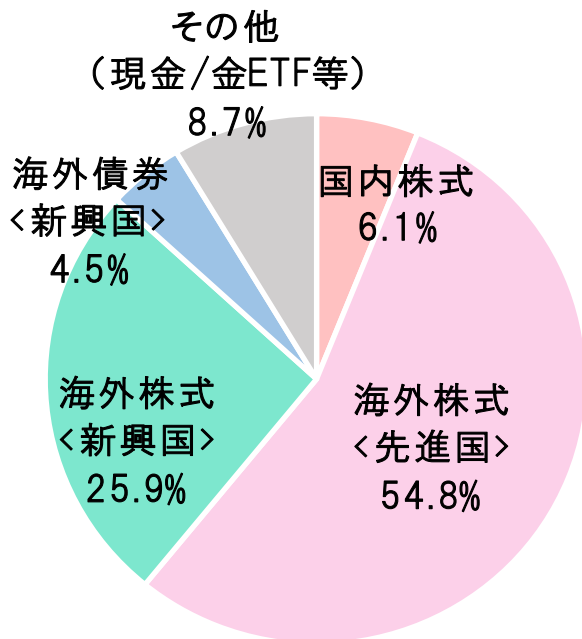


※**値動きの大きさの推移**について: 設定来の日次リターンを基に過去250営業日のリスク(日次リターンの標準偏差の年率換算値)の推移を表したものです。簡単に説明すると、数値が高いほど日々の値動きの幅が大きいことを表し、逆に数値が低いほど日々の値動きの幅が小さいことを表します。ありがとうファンドは値動きの幅を低位に抑える運用を心掛けています。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

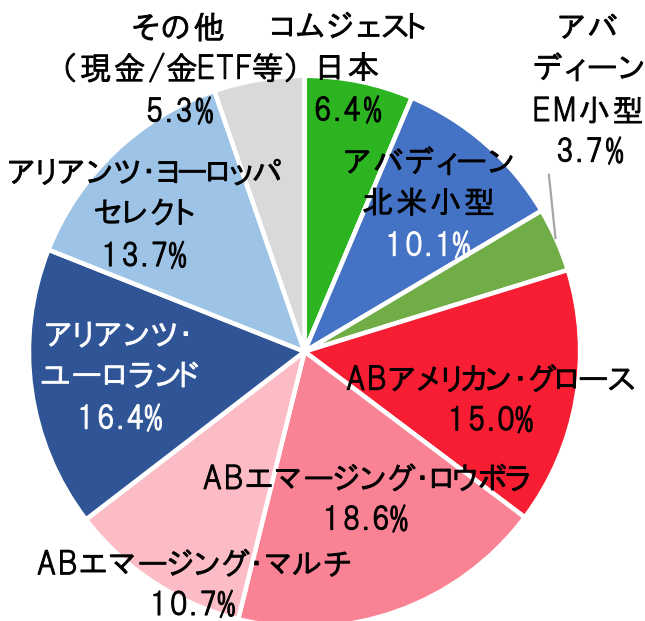
◆資産配分(1月末時点)



地域・資産	組入比率	基準値	基準比
国内株式	6.1%	6%	+0.1%
海外株式<先進国>	54.8%	55%	-0.2%
海外株式等<新興国>	30.4%	33%	-2.6%
その他(現金/金ETF等)	8.7%	6%	+2.7%



◆ポートフォリオ(2月末時点)



◆アクティブシェア(12月末時点、原則四半期末開示)

ファンド名(略称)	アクティブシェア※	参考指数
コムジスト日本株式	85%	TOPIX
アバディーン北米小型	94%	ラッセル2000
アバディーンEM小型	97%	MSCI EM スモールキャップ
ABアメリカン・グローブ	68%	ラッセル1000グローブ
ABエマーシング・ロウボラ	71%	MSCIエマーシングマーケット
アリアンツ・ユーロランド	68%	S&Pユーロゾーン・ラージミッドキャップ・グローブ
アリアンツ・ヨーロッパセレクト	72%	S&Pヨーロッパ・ラージキャップ・グローブ

※アクティブシェアとは、各ファンドのベンチマークもしくは参考指数に対して異なる割合を表しています。上記のアクティブシェアは各ファンドの運用会社の開示を基に掲載しています。



◆直近のマーケット動向について

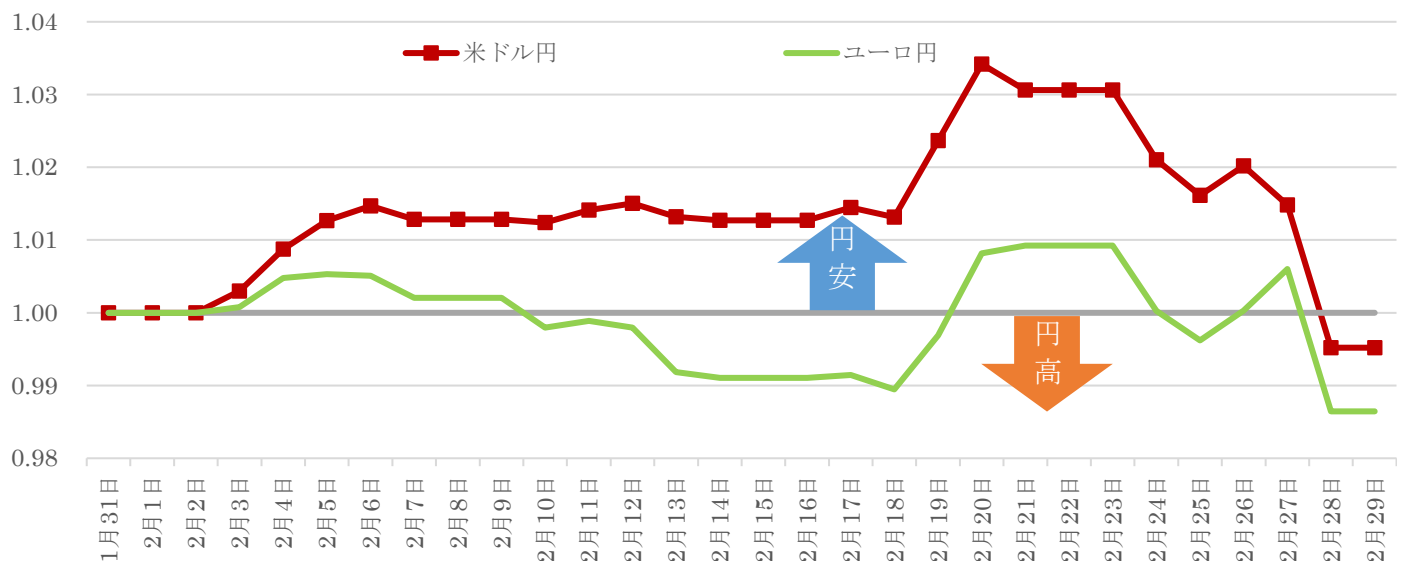


2月のマーケットはどうだったの？ ニュースでは連日中国の新型コロナウイルス関連ばかりの報道で気が滅入っちゃったわ。もちろん株価もどん底よね？

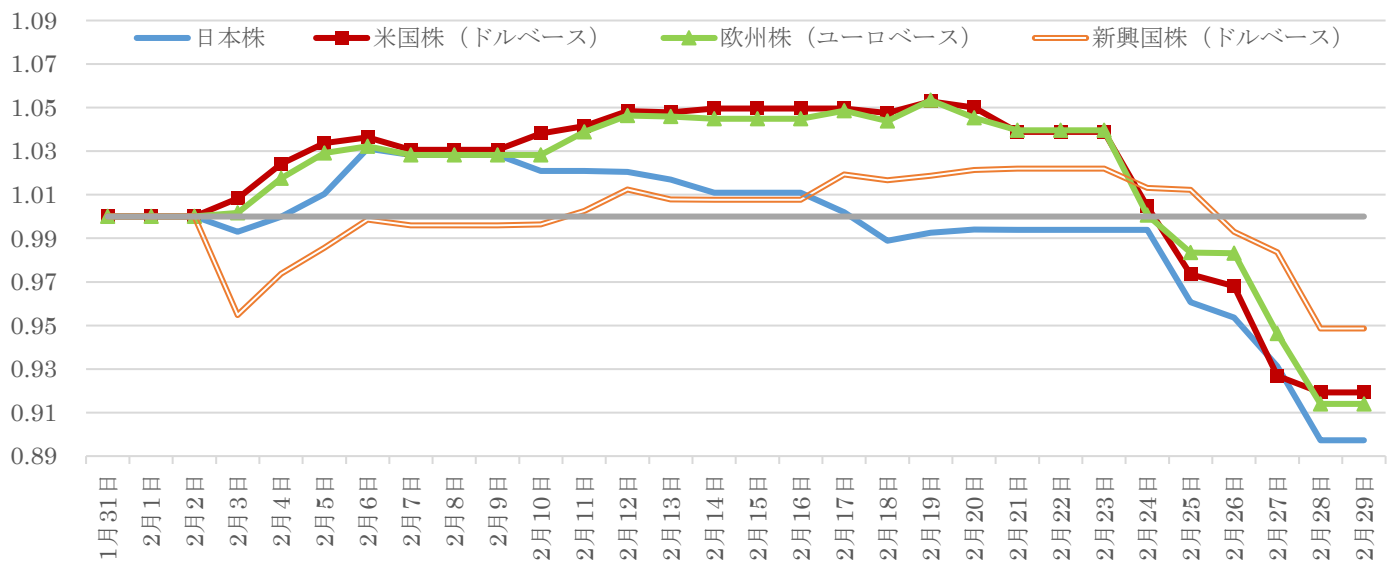


2月のマーケットの動きですが、ご指摘いただいたとおり、新型コロナウイルス関連のネガティブなニュースフローの影響で、世界株式市場は総じて大きく下げた1ヶ月でした。前半から中盤にかけては、史上最高値を更新し続ける米国株などを主とする欧米株が上昇を続けていました。しかし、月終盤になると、新型コロナウイルスの感染がアジアに留まらず、世界的に拡散してきたことなどが嫌気され、前半好調だった欧米株を中心に急落しました。

【米ドル円、ユーロ円推移】2020年1月31日を1として指数化



【主要株式指数推移(配当込、現地通貨ベース)】2020年1月31日を1として指数化



※ ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて指数化しております。(使用している指数についてはレポート最終ページの注記を確認ください。)

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

上記の主要株式指数推移を参照していただくとお分かりいただけますように、総じて下げる相場でしたが特に日本株が前月に引き続き弱い1ヶ月でした。日本株は欧米株の上昇局面では付いて行けず、一方下落局面では欧米同様もしくはそれ以上下げるといった悪い癖が確認できました。詳しくは過去の『[ありがとうブログ](#)』をご参照ください→『[平成を振り返る\(後編\)](#)』



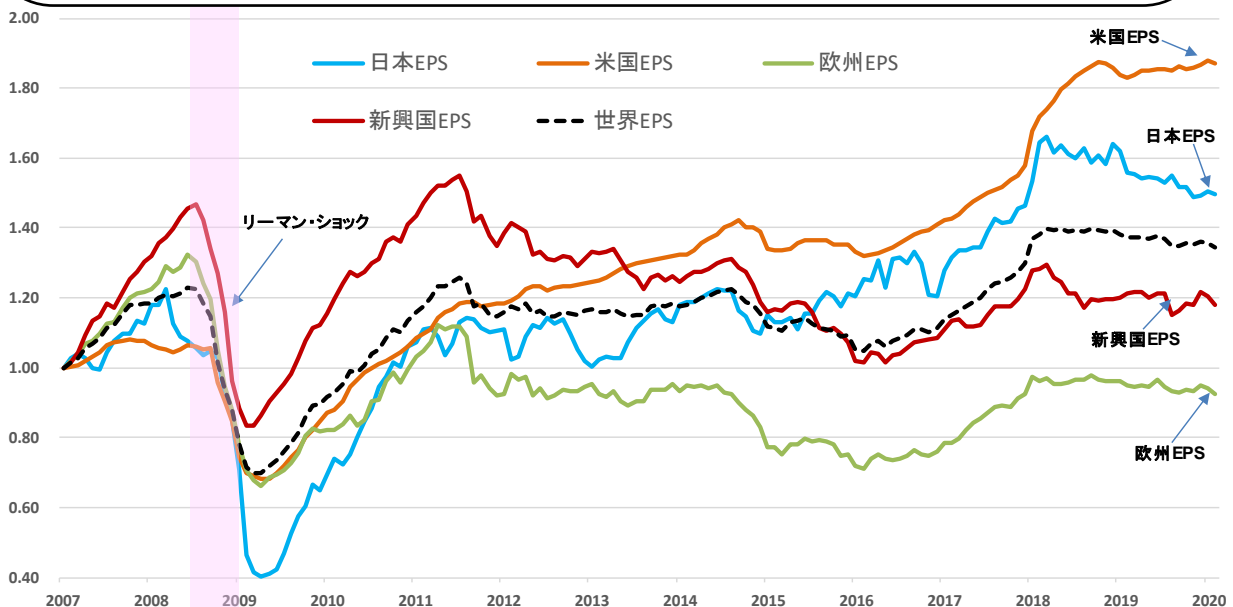
ありがとうファンドの運用はどうでしたか？

ありがとうファンドの2ヶ月間騰落率は4.1%の下落となりました。世界株は7.6%の下落でしたので、相対的に下げ止まった1ヶ月でした。参考までに日本株は10.3%の下落となりました。月中の売買状況については、売買を見送りました。



今後の見通しについてはどうなっているのかね？教えてもらえないだろうか。

今後の見通しについては、各種地政学リスクなど一過性のイベントはあるものの世界経済は引き続きリーマン・ショックからの回復・成長が続くと考えています。ファンダメンタルズの改善に基づいた企業利益の成長がより注視される市場になるでしょう。下図ではリーマン・ショック前からの4国・地域のEPS(1株当たり利益)の水準をまとめました。足元では、すべての国・地域で企業利益の成長が鈍化しているように見受けられます。いずれの国・地域においても固有のリスクはありますが、これから中長期の人口動態や、GDP成長率を見る限りエマージング株式市場が最も投資妙味のある地域と考えております。



出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、EPSは2007年1月末を1として指数化し2020年2月末までの推移

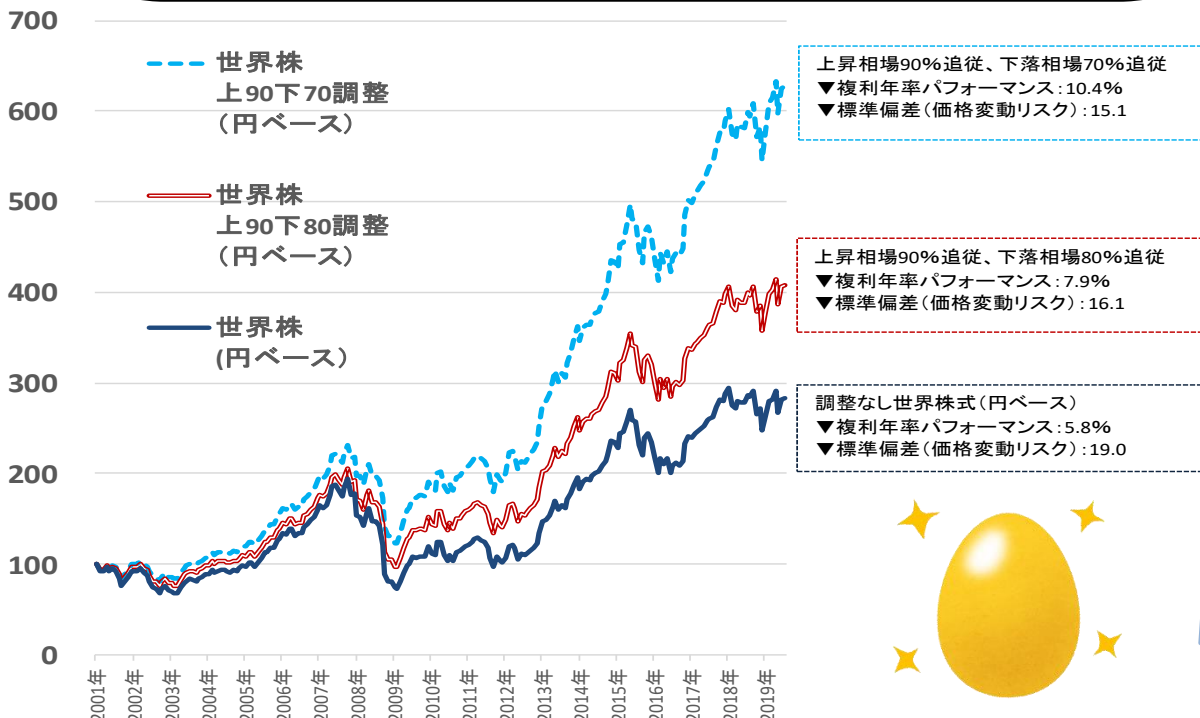




今後の運用方針についてはどうなっているのかしら。教えてちょうだい。

株式市場という観点から足元の状況を考えると、リーマン・ショック後各国・地域は量的緩和などの金融緩和で各々の経済・市場を支え世界的にカネ余りの状況が続いています。リターンを求めてやや過熱感のある市場も出てきました。このような環境下では一つの市場だけに投資することはリスクが高く、特定の市場に過度に偏ることなく幅広く分散投資することにより長期的に持続性のあるリターンを享受できると考えております。ありがとうファンドでは、世界経済の成長をグローバル市場で競争力のある企業の成長に沿った形で享受できるよう、国際分散・厳選・長期投資を継続していきます。

アクティブファンドというと上昇局面で大きく稼ぐといった様な派手なイメージが強いと思いますが、ありがとうファンドでは上昇局面で無理に上値を狙うといった運用よりは市場全体が下落する局面にて市場相対で下げ幅を抑制することにより結果的に長期で安定したパフォーマンスを提供できると考えております。その源泉としては、①実績のある投資先ファンドによる成長企業の厳選、②国・地域別資産配分の見直し・調整、③金ETFなど株式市場と相関が低い資産を組み入れることによる資産分散を主に考えております。下図はあくまでも参考までですが、上昇局面では90%ほど市場に追従し、下落局面では下落幅を抑制した場合のバックテスト例になります。ダウンサイドリスクを抑制することにより、長期で価格変動リスクを抑えながら運用パフォーマンスを向上できたことが確認いただけると思います。



出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、株価は2001年1月末を100として指数化し2019年7月末までの推移

注：上昇・下落局面は月次騰落率ベースで判断。平均年率パフォーマンスと標準偏差についても月次ベースのデータから計算

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

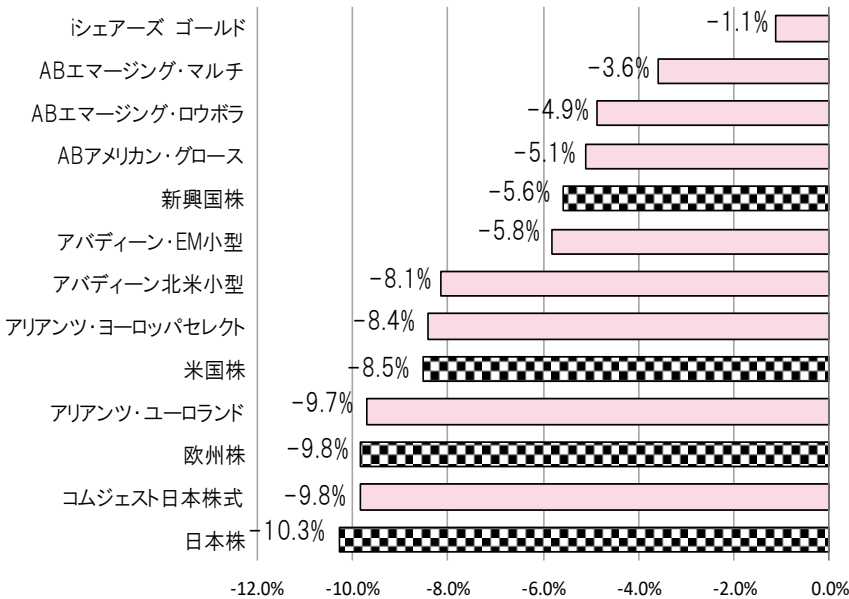


投資先ファンドの状況についても気になる！教えて！教えて！

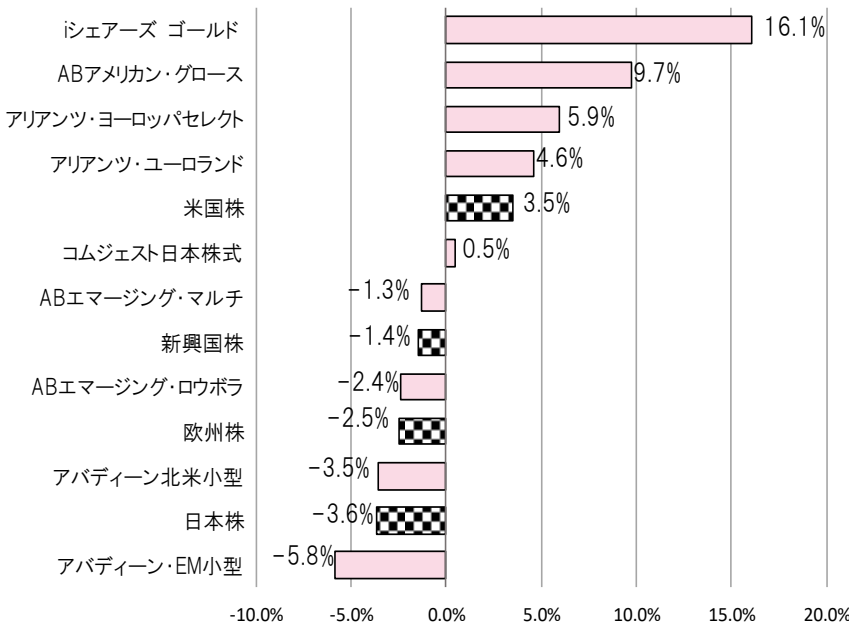


まずは、投資先ファンドの月間と年間の騰落率(円ベース比較)をご覧ください(2020年2月末時点)

【月間騰落率】



【年間騰落率】



※ 上記参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

月間騰落率については、市場全体が大きく下げる中、新興国株を担当しているABの2ファンドや、米国株式市場を担当しているABアメリカン・グロースファンド、アバディーン北米小型株ファンドなどが相対的に堅調なパフォーマンスを実現したことから、当ファンドの基準価額下落のクッションとなり、全体として下げ止まる結果になりました。また、金のETFであるiシェアーズ・ゴールドトラストファンドもこういった急落相場では株式とは異なる動きをするため、ありがとうファンドの最大下落率抑制に貢献してくれました。iシェアーズ・ゴールドトラストファンドの年間騰落を見るとその点ははっきり確認できると思います。

ファンドの詳細は下記の『[ありがとうブログ](#)』をご参照ください→

[【エマージング諸国株担当ファンド】アライアンス・バーンスタイン・エマージング・マーケット・ストラテジック・コア株式運用戦略チーム update](#)

[【米国株担当ファンド】アライアンス・バーンスタイン米国大型成長株チーム update](#)

[アバディーン北米小型株ファンドの投資企業例](#)

マーケットが楽観的な時も悲観的な時も、長期投資はじっくりコツコツ続けていくことが大切です！時間を味方につけて、一緒に国際分散投資で資産運用していきましょう！何かご不明な点がございましたら、お気軽に弊社までお問合せください。（ありがとうファンド運用担当者）



## ◆投資先ファンドの運用パフォーマンス

#	投資先ファンド	主要投資地域	組入比率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	年率複利(5年)
1	コムジスト日本株式	日本	6.4%	▲9.8%	▲11.6%	+0.4%	+0.5%	+28.5%		
	TOPIX 配当込み			▲10.3%	▲10.9%	+1.1%	▲3.6%	+5.3%	+10.6%	+2.0%
2	ABアメリカン・グロース	米国	15.0%	▲5.1%	▲3.3%	+7.0%	+9.7%	+52.0%	+64.5%	+10.5%
3	アパディーン北米小型	米国	10.1%	▲8.1%	▲7.3%	+2.7%	▲3.5%	+7.6%	+31.4%	+5.6%
	米国株 (配当込み、円)			▲8.5%	▲6.8%	+3.4%	+3.5%	+25.7%	+36.1%	+6.4%
4	アリアンツ・ユーロランド グロース	欧州	16.4%	▲9.7%	▲7.7%	+5.0%	+4.6%	+18.6%	+14.0%	+2.7%
5	アリアンツ・ヨーロッパ セレクト	欧州	13.7%	▲8.4%	▲6.4%	+7.3%	+5.9%	+16.9%	+9.3%	+1.8%
	欧州株 (配当込み、円)			▲9.8%	▲9.1%	+1.1%	▲2.5%	+13.9%	+5.7%	+1.1%
6	ABエマージング ロウボラ・エクイティ	新興国	18.6%	▲4.9%	▲3.5%	+1.9%	▲2.4%	+2.6%	+2.1%	+0.4%
7	ABエマージング ・マルチ	新興国	10.7%	▲3.6%	▲2.1%	+5.5%	▲1.3%	+5.7%	+8.9%	+1.7%
8	アパディーンエマージング 小型	新興国	3.7%	▲5.8%	▲3.1%	+4.4%	▲5.8%	▲1.0%	▲11.1%	▲2.3%
	新興国株 (配当込み、円)			▲5.6%	▲1.7%	+5.1%	▲1.4%	▲2.5%	▲7.8%	▲1.6%
9	シェアーズ ゴールド・ トラスト	金ETF	2.8%	▲1.1%	+6.2%	+5.2%	+16.1%	+20.7%	+16.1%	+3.0%

注：参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

【39紹介プログラムもあるよ♪】

(詳しくは『ありがとう投信ホームページ』>『39 紹介プログラム』をご覧ください。)

ご家族・ご友人

# 39 紹介プログラム

紹介を受けた方がありがとう投信の  
新規口座開設+定期積立1万円以上を  
6ヶ月継続していただくことで  
紹介したお客さまと紹介を受けた方に感謝の気持ちとしてプレゼント贈呈!

3/9  
START!

◆各投資先ファンドの組入銘柄 TOP5

◎アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース

1月31日時点

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 ALPHABET, INC. Class C	アメリカ	コミュニケーションサービス	グーグルの新たな持株会社として、2015年10月2日に設立された。新運営体制におけるグーグルのメイン事業(グーグル事業)には、検索、広告、地図、アプリ、YouTube、Android(アンドロイド)および関連技術インフラが含まれる。	7.8%
2 MICROSOFT CORP.	アメリカ	情報技術	Windowsに代表される基本ソフト(OS)を開発し、各種デバイス(PCやタブレット他)、サーバ、携帯電話、インテリジェントデバイス向けに提供。また、パソコン、タブレット、携帯電話、ゲーム機などの製品も開発、販売している。	7.4%
3 FACEBOOK, INC. Class A	アメリカ	コミュニケーションサービス	SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス=交流サイト)の「フェイスブック」を運営。利用者は、「フェイスブック」を利用することで、家族や友人と情報を共有したり、コミュニケーションをとることができる。	5.1%
4 UNITEDHEALTH GROUP, Inc.	アメリカ	ヘルスケア	医療保険、ソフトウェア、データコンサルティングサービスを提供する。	4.9%
5 VISA, INC. Class A	アメリカ	情報技術	グローバルなペイメント(決済)テクノロジー会社。高速度かつ安全、信頼性の高い電子決済で消費者、企業、銀行、政府、地域を結び役割を果たす。	4.9%

◎アライアンス・バーンスタイン・エマージング・マーケット・ロウ・ボラティリティ・エクイティ

1月31日時点

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 ALIBABA GROUP HOLDING LTD. (ADR)	中国	一般消費財	インターネット・インフラ、eコマース、オンライン金融、インターネット・コンテンツなどのサービスを提供する。世界各国で製品およびサービスを提供。	5.9%
2 SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	韓国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)・移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	5.2%
3 TSMC	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファブリーメーカー	5.1%
4 TENCENT HOLDINGS LTD.	中国	コミュニケーションサービス	中国のインターネットサービス会社の大手。ソーシャルプラットフォームを運営するほか、デジタルコンテンツサービスを提供する。VAS(付加価値サービス)、インターネット広告、その他の3セグメントで事業を展開。	4.9%
5 NESTLE SA(REG)	スイス	生活必需品	スイスの大手食品メーカーで乳製品、ベビーフード、シリアル、チョコレート、菓子、水、コーヒー、その他飲料などを生産する。	3.2%

◎アライアンス・バーンスタイン・エマージング・マーケット・マルチアセット

1月31日時点

銘柄	国	業種・種類	債券格付け、事業内容など	組入比率
1 SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	韓国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)・移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	4.0%
2 ALIBABA GROUP HOLDING LTD.	中国	一般消費財	インターネット・インフラ、eコマース、オンライン金融、インターネット・コンテンツなどのサービスを提供する。世界各国で製品およびサービスを提供。	2.5%
3 TSMC	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファブリーメーカー	1.6%
4 LUKOIL PJSC	ロシア	エネルギー	ロシア最大級の石油会社。石油の探鉱、生産、精製、マーケティング、流通に従事している。	1.5%
5 UKRAINE GOVERNMENT INTERNATIONAL BOND 7.75%	ウクライナ	国債	ウクライナ国債(米ドル建て)	1.4%

◎アリアンツ・ユーロランド・エクイティ・グロース

1月31日時点

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	半導体業界向けのリソグラフィシステムの製造、取引を手がけるほか、集積回路やチップの製造に使用される装置を開発する。	6.5%
2 SAP SE	ドイツ	情報技術	エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェア(EAS)の分野で世界を代表する企業。数多くの製品と関連サービスを世界各国で提供する。	6.2%
3 LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITON	フランス	一般消費財	LVMHモエ・ヘネシー・ヴィトン(LVMH Moet Hennessy Louis Vuitton SE)は、多角化した高級品のグループ。ワインやコニャックなどの酒類をはじめ、香水、化粧品、旅行かばん、時計・宝石類の製造・販売を手掛ける。	5.1%
4 INFINEON TECHNOLOGIES AG	ドイツ	情報技術	自動車や産業用電力、チップカード、セキュリティ向けの半導体システムソリューションの製造を手掛ける。自動車、産業用電力制御、マルチマーケット電力管理、チップカード・セキュリティ、その他の各部門を通じ事業を展開。	3.6%
5 KINGSPAN GROUP PLC	アイルランド	素材	建築資材メーカー。高品質の断熱材と建物外面システムを世界各国で販売する。	3.6%

◎アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト

1月31日時点

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	半導体業界向けのリソグラフィシステムの製造、取引を手がけるほか、集積回路やチップの製造に使用される装置を開発する。	6.2%
2 SAP SE	ドイツ	情報技術	エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェア(EAS)の分野で世界を代表する企業。数多くの製品と関連サービスを世界各国で提供する。	6.1%
3 NOVO NORDISK A/S-B	デンマーク	ヘルスケア	90年以上にわたり糖尿病ケアの革新をリードしてきた製薬会社。インスリンのマーケットシェアは5割前後に至る。	4.8%
4 DSV PANALPINA A/S	デンマーク	資本財	運輸グループ持株会社。トラック、船舶、航空輸送サービスや倉庫・ロジスティクスなどのサービスを提供する。欧州、北米、極東地域で事業を展開する。	4.7%
5 INFINEON TECHNOLOGIES AG	ドイツ	情報技術	自動車や産業用電力、チップカード、セキュリティ向けの半導体システムソリューションの製造を手掛ける。自動車、産業用電力制御、マルチマーケット電力管理、チップカード・セキュリティ、その他の各部門を通じ事業を展開。	4.6%

◎アパディーン・スタンダード・ノースアメリカン・スモーカーカンパニーズ・ファンド

1月31日時点

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 GLOBUS MEDICAL INC	アメリカ	ヘルスケア	医療機器メーカー。脊椎障害患者の治療用製品の設計・開発・商品化を専門に手掛ける。先端技術と製品を提供。	2.9%
2 TMX GROUP LTD	カナダ	金融	証券取引運営会社。運営する証券取引所を通じて、さまざまな発行体に対して流動性のある市場、成長初期段階にある企業の資本へのアクセス、天然ガス・電気先物契約の取引および決済の場を提供する。	2.9%
3 FIVE9 INC	アメリカ	情報技術	クラウド・コンタクト・センター向けソフトウェア会社。リアルタイム・時系列レポート、録音、品質モニタリング、従業員管理、CRMの統合を提供する。世界各地で事業を展開。	2.8%
4 LCI INDUSTRIES	アメリカ	一般消費財	RV車・娯楽器具メーカー。主な製品は、工具箱、トラックキャップ、ランニングボード、サイドアウト、マットレス、アライメントシステム、ショックアブソーバー、パワースタビライザー、ジャッキ、バゲージド、スライダなど。	2.7%
5 NEENAH INC	アメリカ	素材	グローバルな製紙会社。さまざまな用途に使用される高級紙、用途別用紙、および特殊製品を製造する。米国とドイツで事業を展開する。	2.7%

◎アパディーン・スタンダード・エマージング・マーケット・スモーカーカンパニーズ・ファンド

1月31日時点

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 BELUGA GROUP PJSC	ロシア	生活必需品	アルコール会社。ウォッカ、ウィスキー、ジン、コニャック、ブランデー、ラム酒、テキーラ、ワイン、蒸留酒を製造・販売する。世界各地で事業を展開。	4.0%
2 ASM INTERNATIONAL NV	オランダ	情報技術	半導体製造機器メーカー。子会社を通じて、半導体機器製造用の部品・器具を設計、製造、販売、サポートする。ウェハー処理、組み立て、梱包の製品ソリューションを提供する製品を、米国、欧州、日本、東南アジアで販売する。	3.7%
3 MPHASIS LTD	インド	情報技術	IT、BPO(ビジネスプロセス・アウトソーシング) サービスを提供する。技術、業務委託のカスタム・ソリューションを世界中で提供し、ビジネスプロセスの効率化のサポートを行う。	3.2%
4 PACIFIC BASIN SHIPPING LTD	香港	資本財	海運会社。子会社を通じて、大型かつ近代的なハンディサイズ・バルクキャリア(バラ積み船)の船団を使用して、海上輸送サービスならびにロジスティクス・サポートを提供。	3.2%
5 POYA INTERNATIONAL CO LTD	台湾	一般消費財	小売チェーン。台湾全土で小売店を運営する。パーソナルケア用品、生活用品、小型電気製品、文房具、菓子などを販売。	3.2%



©コムジスト日本株式ファンド  
マザーファンド株式組入上位5銘柄

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 ダイフク	日本	資本財・サービス	立体自動倉庫やコンベヤなど、搬送・仕分け・ピッキング・保管に用いられるマテリアルハンドリング(=マテハン)システム・機器のメーカーで、世界でもトップクラスのシェアを持つ。	3.9%
2 シスメックス	日本	ヘルスケア	血液検査、免疫血清検査、尿検査、生化学検査等に必要となる機器・試薬や、これらに関連するソフトウェアなどの研究開発から製造・販売・サービス＆サポートまでを手がける臨床検査の総合メーカー。	3.6%
3 村田製作所	日本	情報技術	積層セラミックコンデンサや、SAW(弾性表面波)のRF(無線周波数)コンポーネントなど高付加価値製品では圧倒的な強みを持つ。セラミックコンデンサでは世界首位。	3.5%
4 信越化学工業	日本	素材	汎用製品の代表格である塩化樹脂と、半導体シリコンの高分野で、世界トップシェアを持つ安定した高収益体質を誇る化学大手。	3.3%
5 HOYA	日本	ヘルスケア	国内初の光学ガラス専門メーカー。メガネレンズ、コンタクトレンズのほか、光学技術を核として多角化を推進。半導体の回路の原版となるフォトマスク、マスクブランクス(描画前のフォトマスク)など高シェア製品が多い。	3.2%

2月28日時点

## 【ありがとうブログも見てね♪】

(詳しくは『ありがとう投信ホームページ』>『[ありがとうブログ](#)』をご覧ください。)



## 【ありがとう39ブログ・シリーズ♪】

### 【ありがとう39ランキング】



2019年07月26日(金)

ありがとう39ランキング【テクノロジーサービスセクター：⑤中国のテクノロジー企業&その他】

トレンド 投資先ファンド・銘柄

運用トピックス

運用者メッセージ

### 【ありがとうトピックス】



2020年02月20日(木)

日本の将来について考えてみる②

運用トピックス

運用者メッセージ

### 【ありがとう39クッキング】



2020年02月26日(水)

39クッキング【クラムチャウダーをパイシートで包んでみたら・・・】

ライフ

### 【対馬:前編】

### 【対馬:後編】



2019年11月22日(金)

ありがとう39ツアー【こんなご時世だから対馬行ってみませんか? 世だから対馬行ってみませんか? 前編】



2019年11月22日(金)

ありがとう39ツアー【こんなご時世だから対馬行ってみませんか? 世だから対馬行ってみませんか? 後編】

【ありがとう 39 ツアー】  
もあるよ♪♪♪

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◆ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99% (税抜 0.9%) の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.6% ± 0.2% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信(株)カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】 騰落率は、ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。

※資料に記載されている各国・地域市場の指数は他に断りの無い限り以下の指数を使用しています。

【日本株】→ TOPIX 配当込み(税引き前配当再投資)

【世界株】→ FactSet Market Indices World 配当込み(税引き前配当再投資)

【米国株】→ FactSet Market Indices United States 配当込み(税引き前配当再投資)

【欧州株】→ FactSet Market Indices Europe 配当込み(税引き前配当再投資)

【新興国株】→ FactSet Market Indices Emerging 配当込み(税引き前配当再投資)



■R&I ファンド大賞について

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。